

## 令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来創造IT学科	科目名	React		
授業種類	実技	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	伊藤治		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>本授業では、JavaScriptのライブラリとして注目を浴びているReactを学習します。 Reactを習得することにより、より柔軟性の高いフロントエンドシステムを構築できるようします。</p>				
	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 JavaScriptによるReactライブラリのインポートと活用方法を理解する</li> <li>2 Reactのライブラリによるインタラクティブ性を持つUIを使用したWebサイトを作成する</li> </ol>				
前期			後期		
1	変数と宣言	16	Create Ract Appのインストール		
2	データ型	17	Visual Studio Codeを利用する		
3	演算子	18	TODOアプリの実装準備の確認		
4	関数と宣言	19	ローカルサーバの準備		
5	引数	20	TODOに一意的なIDを付加する		
6	条件分岐とループ	21	モックサーバと通信してTODOを取得する		
7	中間テスト	22	中間テスト		
8	配列	23	タイトルとTODOリストをコンポーネント化する		
9	オブジェクト	24	TODOをカスタムフックから取得する		
10	モジュール	25	新規TODOの追加機能を実装する		
11	useStateによるstateの管理	26	TODOリストのアイテムに設置したボタンの機能を実装		
12	useEffectによる関数の制御	27	コンポーネントごとに別ファイルに切り分ける		
13	useCallbackとReact.memo、useMemo	28	後期まとめ①		
14	useRefの利用例	29	後期まとめ②		
15	UseContext利用例	30	後期まとめ③		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	教科書 基礎から学ぶReact/Ract Hooks実践入門 asakohattori(著) C&R研究所				
成績評価	<p>授業内の専門用語とReact構文について8割程度理解できることを到達目標とする。 【評価方法】 1.授業態度 10% 2.中間テスト 30% 4.前期試験と後期試験 60%</p>				
履修上の 留意点	自分の書いたコードを自らがバグフィックスする。				